

愛媛県南部におけるふごの利用文化の概観と

その製作方法



環境デザイン学科 3回生

上田桜
三宅麻央
篠原七星

徳岡プロジェクト

概要

- ▶ はじめに
- ▶ ホゴとは
- ▶ 歴史
- ▶ 動画作成
- ▶ ホゴの作成
- ▶ 謝辞
- ▶ 参考文献



01

はじめに
Introduction

▼ 活動のきっかけ

ホゴを大切に使っている地域の老人に出会う



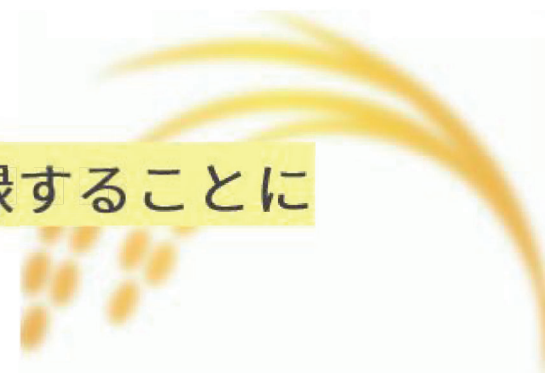
ホゴを作る伝承者と作り方が不明なことが判明



現在もホゴを自作できる三間の岡本さんを宮本春樹先生に紹介いただく



岡本さんに密着・ホゴを作成する様子を撮影により記録することに



02

ホゴとは

What's "Hogo"?

▼ ホゴとは？

- 「畚（フゴ・モッコ）」
- 稲藁で作られる運搬具
(日本の稲作地帯で多く利用)

例①：讃岐地方（現在の香川県）
農閑期の冬場の男性の手仕事として
畚を製作

例②：愛媛県内
宇和島市三間・遊子や八幡浜
市大島にて畚を利用する農家

宝永4（1707）年 「耕稼春秋」
「手持籠」として描かれる（図a）

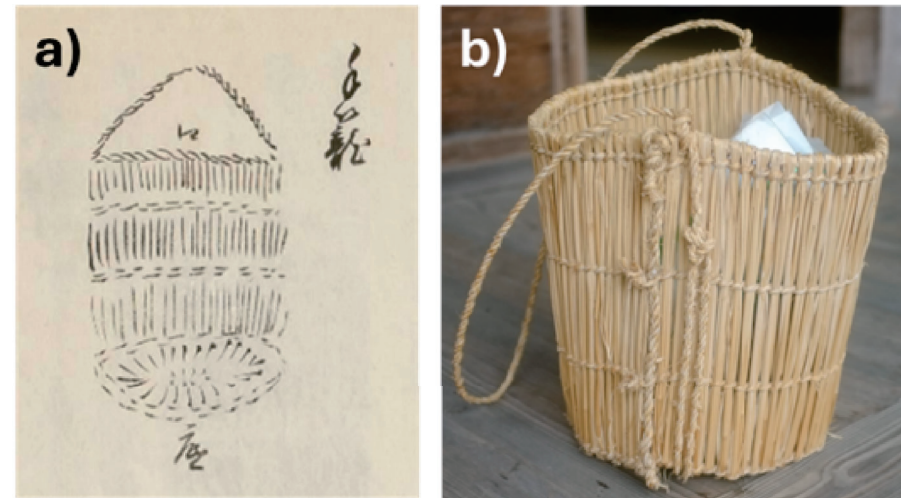


図1. 畚の形態 a) 耕稼春秋に描かれた手持籠(東京大学総合図書館

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/archives-top/reuse>より)

b) 宇和島市三間町金銅在住の岡本が製作した畚



▼ 西南四国における畚利用文化の概観

安岡さん・岡本さんによると…

- 畚の材料 → もち米の藁（×：うるち米）
- 現在のモチミノリよりも背丈が高かった → かつての畚は大きかった！



その他事例：宇和島市遊子水荷浦

- 稲藁は他所の水田地帯から入手

[遊子水荷浦の段畑の写真 - 宇和島市ホームページ](#) | [四国・愛媛 伊達十萬石の城下町](#)



03

歷史

History of "Hogo"

▼ 民族的運搬具の呼称のちがい

モッコ

縄や竹・蔓で編まれた
土を運ぶのに用いる四角の網



https://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/chiebukuro/search/mame/No_174.html

中国地方整備局

畚



フゴ

藁などで編まれた
隙間の小さな運搬具

▼ フゴの呼称のちがい

- **ホゴ**: 糯藁で造られたじょうぶでやわらかい藁細工の運搬用カゴ

(地域によってはホイゴやホウゴと呼ぶ)

ホゴ: 農産物、木材、海産物、生活物品などを運ぶ

ホイゴ・ホウゴ: 主に農作業において肥料や堆肥、藁そのものを運ぶ
at. 主に西日本(特に瀬戸内沿岸や四国地方)

- **イチウ**: 稲藁で造られた藁細工の運搬用カゴ

ミカンの収穫・運搬に使う

at. 静岡県など



<https://agriknowledge.affrc.go.jp/RN/4020001758>
農林水産研究に関する国内の論文・情報が探せる
データベース(アグリナレッジ)

▼ フゴの呼称のちがい

- **ハフゴ(灰フゴ)**: 岡山県建部町周辺など、灰や肥料を運ぶ深さのあるタイプ。
サイタロウ: ハフゴの中でもさらに深さがあるもの。
サイタロウ
- **ハンショウフゴ**: 大阪の摂津地域など、粳摺り(もみすり)した玄米を入れるための紐が長いフゴ。 大阪の摂津地域
紐が長い
- **つぼけ**(藁積: わらぐま): 愛知県知多半島周辺の地域で、脱穀後のワラを円筒形に積み上げたもの、またはその運搬具(新美南吉の童話にも登場) 円筒



▼ 愛媛県内の運搬具の分布



04

動画作成

Video creation of "Hogo"

▼ 動画作成の背景

ホゴを作る伝承者がいない...。
ホゴの具体的な作成方法が不明...。



動画にして半永久的に作成方法を保管・次世代に伝えていく！



▼ 動画作成の手段

- 使用したアプリケーション：
「[Wondershare Filmora 14](#)」
- 現地で撮影した動画→分割・説明文の挿入
- 手元で見た方が分かりやすいパートも、別途動画有り（スマートフォンでの撮影動画）



実際の手元の動画の画像





05

ホゴの作成

Make "Hogo"

▼ 原材料の栽培（バケツ稲）

- ・ 栽培品種：モチミノリ、コヤマジフク、豊満神社米
- ・ 栽培期間：5月～11月



① 芽出し



② 土づくり



③ 種まき

▼ 原材料の栽培（バケツ稲）



④ 成長の様子（7月頃）



⑤ 11月頃（左から豊満神社米、コヤマジフク、モチミノリ）

▼ 原材料の栽培（バケツ稲）



⑥11月の水抜き後の屋根干し



⑦収穫と稲藁の乾燥

▼ ホゴの作成に使用する道具

通し針



輪をかけるのに使用
後端が輪っかになっている

俵編み機およびコマ



畚の側面を製作する際
に必要な道具。

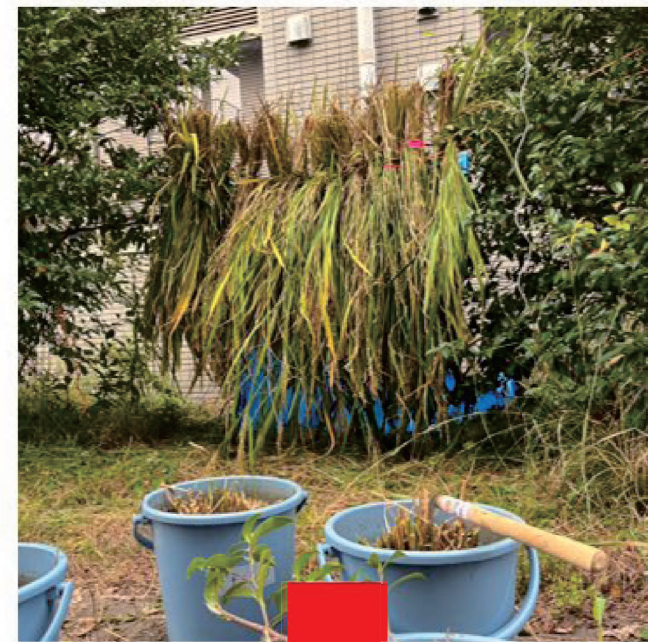
木槌と石



稲わらをたたいて柔らかくする

▼ 私たちが使用した原材料・道具

- ・ 稲藁（品種：モチミノリ）
- ・ 通し針（針金を加工したもの）
- ・ 麻ひも ← 稲藁の小縄の代替品
- ・ ゴムハンマー ← 木槌の代替品
- ・ 俵編み機およびコマ



▼ ホゴの作成風景



① 稲藁を加工しやすくするために、ゴムハンマーで叩き、柔らかくしていく。



② ホゴの取っ手となる縄を編む。

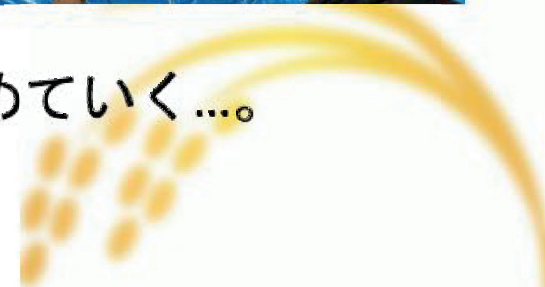
▼ ホゴの作成風景



③ コマに麻ひもを巻き付け、稲藁を編んでいく。



④ 編み進めていく...



▼ ホゴの作成風景



⑤ホゴの両端を麻ひもで結ぶ。



⑥底部は3束ずつ束ねて俵編みを行う。底部を縛り、余分な稲藁を切る。

▼ ホゴの作成風景



⑦ 底部の藁束をすべて縛り、蜘蛛の巣状に編む。

⑧ 完成！

06

今後の展望

Future outlook

▼ 今後の展望

①文化保全への活用

畚づくりの技術をデジタル記録として残すことで、地域に根ざした生活文化の継承につなげる

②環境教育への活用

自然素材を使ったモノづくりを教育に取り入れることで、文化の継承、資源循環を教えることができる

③生物文化多様性からの追加評価

地域による原材料の品種や呼び名の違い、仕上げ編みの方法の地域差などについての調査。



07

謝辭

Acknowledgement

▼ 謝辞

本調査にあたり、ホゴの作成に密着をさせていただいた宇和島市三間町の岡本萬吉さん・安岡賢司さん、お二方を紹介してくださった宮本春樹先生に深く感謝申し上げます。

また、稲の種子を提供してくださった愛媛大学農学部附属農場の関係者の方々に、感謝の意を表します。



08

参考文献

References

▼ 参考文献

- ・井辺時雄, 赤間芳洋, 中根晃, 羽田丈夫, 伊勢一男, 安東郁男, 内山田博士, 中川宣輿, 古舘宏, 堀未登, 能登正司 (2004) 水稲糯品種「モチミノリ」. 作物研究所研究報告 5: 19-33.
- ・Johnson JT (2012) Place-based learning and knowing: Critical pedagogies grounded in Indigeneity. *GeoJournal* 77: 829-836.
- ・香川県農林部農業改良課 (1984) さぬき手仕事の風土記. 株式会社美巧社, 高松市.
- ・Maffi L, Woodley E (2012) Biocultural diversity conservation: a global sourcebook. Routledge.
- ・民具製作技術保存会 (n.d.) 民具のつくり方 44 -モッコ(畚)-(担い運搬具)タマモッコ、イシモッコ、ツチモッコ.
- ・Weida CL (2014) Containing interwoven histories: indigenous basket weaving in art education. In *Indigenous Concepts of Education: Toward Elevating Humanity for All Learners* (pp. 185-196). New York: Palgrave Macmillan US.
- ・コトバンク:畚について
- ・呼び名の違い「思い出の記憶」白寿会
- ・日本の民族分布地図集成 第11巻
- ・えひめけんの運搬具 愛媛県歴史文化博物館



ご清聴、ありがとうございました！

